

職場 紹介

技術を磨く。夢を叶える。
あなたの笑顔をまっています。

●理学療法士



中国四国グループ関連病院・施設の紹介

ページ



鳥取県

- 鳥取医療センター 3
- 米子医療センター 5



島根県

- 松江医療センター 7
- 浜田医療センター 9



岡山県

- 岡山医療センター 11
- 南岡山医療センター 13
- 長島愛生園 15
- 邑久光明園 17



広島県

- 呉医療センター 19
- 福山医療センター 21
- 広島西医療センター 23
- 東広島医療センター 25
- 賀茂精神医療センター 27



山口県

- 関門医療センター 29
- 山口宇部医療センター 31
- 岩国医療センター 33
- 柳井医療センター 35



徳島県

- とくしま医療センター東病院 37
- とくしま医療センター西病院 39



香川県

- 高松医療センター 41
- 四国こどもとおとなの医療センター 43
- 大島青松園 45



愛媛県

- 四国がんセンター 47
- 愛媛医療センター 49



高知県

- 高知病院 51



鳥取医療センター

対象病期

高度急性期

急性期 ✓

回復期 ✓

長期療養 ✓



対象疾患



脳血管 ✓



運動器 ✓



呼吸器 ✓

心臓

がん



神経難病 ✓



重症心身障害 ✓



発達障害 ✓



精神科 ✓

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 精神疾患医療の中核施設
- 2 神経難病・重症心身障害に対応
- 3 パーキンソン病センターを設置

鳥取県東部を診療圏とする精神疾患に関する中心的施設であるとともに、神経・筋疾患、呼吸器疾患、重症心身障害に対する専門的医療機能を備えた医療機関です。地域医療では、回復期リハビリテーションや認知症診療に力を入れており、近年は「パーキンソン病センター」を開設し、県内外の患者さんに専門的な医療を提供しています。

リハビリストッフ



PT 20名



OT 23名



ST 8名

回復期から維持期まで幅広い分野のリハビリテーションを経験できます。多職種連携を重視し、「患者ファースト」の精神で診療に取り組んでいます。また、症例発表や勉強会、資格取得支援など教育体制も充実しており、専門性を高めながら成長できる環境です。
(職場長より)

アクセス

〒689-0203

鳥取県鳥取市三津876



0857-59-1111 (代)

リハビリテーション科

理学療法士長・作業療法士長まで



理学療法部門

部門紹介

当院の理学療法は、急性期から回復期までに加え、神経難病、重症心身障害児（者）、認知症など多様な患者さんに対するリハビリテーションを実施しています。パーキンソン病センターでは、短期集中リハビリテーションを通じた専門的な介入を行っています。また、回復期病棟や短期集中リハビリテーション対象患者さんに対し、切れ目のない支援を提供できるよう休日リハビリテーション体制を整備しています。さらに、最新のリハビリテーション支援ロボットを導入し、先進的な医療技術を活用した質の高いリハビリテーションの提供を推進しています。



教育体制・学術活動

当科では、新採用者に対して段階的な教育プログラムを実施し、主体性と問題解決能力を備えた療法士の育成に取り組んでいます。また、LSVT® BIG、パーキンソン病療養指導士、3学会合同呼吸療法認定士などの認定資格取得を支援しており、知識や技術の向上を後押しする体制を整えています。個々に成長しながら、専門性を高められる環境です。

学会発表:令和7年度_1件

鳥取県東部地域の公民館で出前講座を開き、啓発活動を行っています(実績3件)

認定資格:3学会合同呼吸療法認定士、LSVT®BIG、パーキンソン病療養指導士、心臓リハビリテーション指導士、臨床実習指導者講習会修了、福祉住環境コーディネーター

多職種連携

患者さん一人ひとりに治療・リハビリテーションの目標を設定し、多職種が連携して支援を行っています。特に在宅復帰を目指す患者さんに対しては、多職種カンファレンスや退院前家屋調査を通じて生活環境を評価し、安心して在宅生活へ移行できるよう支援しています。患者さんの円滑な在宅復帰に向け、チーム一丸で取り組んでいます。

先輩からのメッセージ

当院では、回復期から維持期まで幅広い分野のリハビリテーションを展開しており、さまざまな疾患や患者様と関わりながら、多くの知識や臨床経験を積むことができます。回復期病棟では、多職種との連携やカンファレンスも充実しており、一人ひとりの患者様に真摯に向き合いながら支援できる環境があります。患者様の回復を身近で感じられることは、大きなやりがいにつながっています。また、症例発表や院内勉強会など、スタッフ同士で学び合う機会も豊富で、院外研修や資格取得へのサポート体制も整っています。(入職2年目)





米子医療センター

対象病期

高度急性期

急性期 ✓

回復期

長期療養



対象疾患



脳血管 ✓



運動器 ✓



呼吸器 ✓

心臓



がん ✓

神経難病

重症心身障害

発達障害

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 整形外科から内部疾患まで幅広く対応
- 2 がん・緩和ケア患者にもリハビリ提供
- 3 土日祝も継続したリハビリを実施

整形外科（上下肢・手指の骨折、人工関節、靱帯損傷等）呼吸器・循環器の内部疾患、がん（周術期含む）、緩和ケア病棟患者も含め、様々な疾患を対象としています。令和6年12月より地域包括医療病棟の導入にともない、土日祝～長期休暇でも一定の患者さんに対してリハビリを提供しています。

リハビリスタッフ



PT 11名



OT 4名



ST 2名

（未配置）

スタッフ同士で相談・協力しあってリハビリ部門を盛り上げていけるよう、1人1人が声掛けしあえる雰囲気づくりを目指しています。個々の能力を高めていくことも必要ですが、組織としてスタッフが支え合うシステム作りを考えています。（職場長より）

アクセス

〒683-0006

鳥取県米子市車尾4-17-1

☎ 0859-33-7111（代）

リハビリテーション科
理学療法士長まで



理学療法部門

部門紹介

鳥取県西部に位置する当院は、地域に根差した医療の提供を目指し、日々患者さんの診療に取り組んでいます。リハビリテーションでは、整形外科疾患をはじめ、呼吸器疾患やがん術後・治療後の患者さんを主な対象としています。在宅復帰や転院、施設入所などを見据え、可能な限り早期から介入し、ADLの向上を支援しています。患者さん一人ひとりを大切にするとともに、職員同士が連携し、知恵を出し合いながら成長できる環境です。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」



教育体制・学術活動

1年目のスタッフには、新人教育プログラムに基づき、教育担当者が丁寧に指導を行っています。2年目以降も、個々の成長に合わせて声掛けや業務量を調整し、働きやすい職場づくりに努めています。また、定期的な勉強会や症例検討会、他部門との合同研修を通じて知識を深めることができます。各種認定資格を有するスタッフが多数在籍しており、スキルアップやキャリア形成についても気軽に相談できる環境が整っています。

学会発表:令和7年度_0件

認定資格など:認定理学療法士1名(呼吸器)、修士1名(健康科学)、3学会合同呼吸療法認定士6名、がんリハビリテーション研修修了者9名、臨床実習指導者講習会修了者6名、日本糖尿病療養指導士1名、福祉住環境コーディネーター2級1名、骨粗しょう症マネージャー1名、フレイル対策推進マネージャー1名、地域ケア会議推進リーダー1名、介護予防推進リーダー1名、鳥取県スポーツ協会公認トレーナー1名、腎臓リハビリテーションガイドライン講習会修了者1名

多職種連携

整形外科をはじめとする各病棟のカンファレンスに定期的に参加し、多職種と密に情報共有を行いながら、診療の質向上に努めています。また、委員会活動の一環として、リハビリテーション科を中心に転倒・転落に関するベッドサイドカンファレンスを積極的に実施し、患者さんが安心して療養できる安全な医療の提供を目指しています。

先輩からのメッセージ

私は今年度で勤務年数10年目を迎え、2人の子育てをしながら業務にあたっています。仕事と子育ての両立は想像以上に忙しい日々ですが、当科は育児への理解も深く、子育て中のスタッフも多いため、急なお休みや勤務調整にも協力しあえる体制が整っており、安心して働くことができます。また、国立病院機構内の他病院で様々な分野を経験したスタッフが在籍しており、知識や技術の共有がしやすい環境である点も魅力です。一緒に地域の皆様の豊かな生活のサポートをしましょう。





松江医療センター

対象病期

高度急性期

急性期

回復期



長期療養



対象疾患

脳血管障害

運動器



呼吸器



心臓



がん



神経難病



重症心身障害



発達障害

精神科

ハンセン病遺言

当院の特徴

- 1 呼吸器センターとしての高度な診療
- 2 神経難病拠点病院としての役割
- 3 重症心身障害医療への対応

リハビリスタッフ



PT 10 名



OT 5 名



ST 3 名

島根県～鳥取県西部を診療圏とし、呼吸器疾患・神経筋疾患・重症心身障害医療の3分野を専門とする医療機関です。地域の「呼吸器病センター」として高度な診療を担うほか、神経難病分野では島根県の難病診療分野別拠点病院（神経）として、専門性の高い医療を提供しています。

「ともに考え、ともに成長する」ことを大切に、医療者・組織人として成長できる環境を整えています。ワークライフバランスを重視し、互いに支え合えるチームワークの良い職場づくりを目指しています。（職場長より）

アクセス

〒690-8556 島根県松江市上乃木
5-8-31



0852-21-6131 (代)

リハビリテーション科
理学療法士長まで



理学療法部門

部門紹介

当院の理学療法では、パーキンソン病やALS、筋ジストロフィーなどの難病をはじめ、呼吸器疾患や重症心身障害児者を対象としたリハビリテーションを行っています。HAL®医療用下肢タイプを用いた先進的な治療にも取り組んでおり、専門性の高いリハビリを学べる環境です。さらに、専門資格を持つスタッフが複数在籍し、資格取得支援体制も充実。急性期から慢性期まで幅広い経験を積むことができます。



出典：フクダ電子

教育体制・学術活動

当科では、新人教育プログラムに基づき、担当の先輩スタッフ（プリセプター）が中心となって、日々の業務や学習を丁寧にサポートしています。科内勉強会や院内研修など、学びの機会も豊富に用意されており、安心して成長できる環境が整っています。

学会発表：令和7年度 11件

（HAL®を用いた症例報告を中心に多数発表しています）

講義・講演等：2件

多職種連携

入院から退院までの間、医師・看護師・メディカルソーシャルワーカーなど多職種が連携し、治療方針や退院後の生活について定期的にカンファレンスを行っています。理学療法士もチームの一員として専門性を発揮し、意見交換に参加します。さらに、退院前には在宅医療・介護職とも連携し、切れ目のない支援体制を整えています。

先輩からのメッセージ

当院では呼吸器疾患や神経難病の患者さんを中心に、回復期～生活期のリハビリテーションを行っています。呼吸理学療法や日常生活動作の維持・改善を目的としたADL訓練を通じて、専門的な知識や技術を身につけることができます。職場の雰囲気も穏やかで相談しやすく、分からないことがあれば丁寧に教えていただけるため安心して学ぶことができる環境です。（入職2年目）



対象病期

高度急性期

急性期



回復期



長期療養



対象疾患



脳血管



運動器



呼吸器



心臓



がん



神経難病

重症心身障害

発達障害

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 県西部唯一の三次救急対応
- 2 急性期から在宅復帰まで支援
- 3 幅広い疾患を対象にリハビリ提供

県西部唯一の三次救急医療機関として、急性期から在宅復帰まで幅広く支援する地域の中核病院です。急性期・回復期リハ・地域包括ケア・緩和ケア病棟を備え、脳血管・心大血管・運動器・呼吸器疾患やがん患者など、幅広い疾患を対象にリハビリ提供しています。

リハビリスタッフ



PT 19名



OT 13名



ST 6名

「医療を通じて“地域で生きる”を支援する」という理念のもと、急性期から回復期、地域包括、緩和ケアまで幅広く対応しています。多様な経験を積める環境の中で、人材育成にも力を入れ、学びと成長を支援する職場づくりを進めています。（職場長より）

アクセス

〒697-8511

島根県浜田市浅井町777-12



0855-28-7098

(リハビリテーション室)



リハビリテーション科 理学療法士長まで



理学療法部門

部門紹介

脳血管疾患や運動器疾患を中心に、心大血管疾患、呼吸器疾患、がんなど幅広い疾患を対象として、急性期から在宅復帰支援まで一貫したリハビリテーションを提供しています。急性期では早期離床や移動能力の獲得を目指し、多職種と連携して介入しています。回復期・地域包括ケア病棟では在宅生活を見据えた支援を行い、退院前訪問やカンファレンスにも積極的に取り組んでいます。また、緩和リハビリテーションではQOLの維持・向上を重視した支援を行っています。



教育体制・学術活動

新人教育にはリハビリテーション科全体で力を入れており、プリセプター制度を導入しています。科内新人研修や症例報告会を実施するほか、院内外の勉強会にも参加しやすい環境を整え、スタッフ一人ひとりのスキルアップと自己研鑽を支援しています。

学会発表:6件(国立病院総合医学会、中国ブロック理学療法士学会、県理学療法士学会)
認定資格:呼吸認定理学療法士 2名 がんのリハビリテーション研修 16名 ACLS有資格者 1名 ICLS講習会 3名 3学会合同呼吸療法認定士 8名 心臓リハビリテーション指導士 2名 心不全療養指導士 1名 パーキンソン病療養指導士 1名 LSVT®BIG認定セラピスト 1名 他

多職種連携

定期的に開催するカンファレンスでは、主治医や看護師、ソーシャルワーカーなど多職種で病状や課題、今後の方針を共有し、患者さんにとって最善のゴールを検討しています。必要に応じて退院前訪問指導を実施し、自宅環境の調整や家族指導を行うなど、退院後を見据えた支援と連携に積極的に取り組んでいます。

先輩からのメッセージ

理学療法士入職2年目です。当院では、急性期や回復期、地域包括ケア病棟があり、幅広い分野で経験を積むことができます。また、各チームと連携を取りながらリハビリテーションを提供する事ができ、多くの知識や技術を身につけられる環境です。新人教育では、プリセプター制度を導入しており、先輩方から手厚い指導を受けることができます。さらに、新人研修や科内の勉強会など学ぶ機会も多く、新人症例発表会では日々学んだことをアウトプットしながら自身の成長に繋げることができます。またスタッフ数が多く相談しやすい環境のため、先輩方から助言をいただきながら、楽しく働いています。





岡山医療センター

対象病期

高度急性期✓

急性期 ✓

回復期

長期療養



対象疾患



脳血管 ✓



運動器 ✓



呼吸器 ✓



心臓 ✓



がん ✓



神経難病 ✓

重症心身障害



発達障害 ✓

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 入院直後から行う早期リハビリ介入
- 2 多くの疾患に対応する急性期医療体制
- 3 多職種連携による包括的支援

当院は平均在院日数約10.5日の急性期病院です。整形外科・循環器・脳血管・新生児・呼吸器・がんなど幅広い疾患に対応し、入院直後や術後当日から早期介入を実施しています。多職種と連携し、包括的なリハビリテーションを提供しています。

リハビリスタッフ



PT23名



OT 8名



ST 3名

当院は平均在院日数の短縮を目指し、早期かつ効果的なリハビリ介入に注力しています。また、新人から役職者まで幅広い世代に対する教育・指導体制を構築しており、働きがいのある職場づくりに努めています。（職場長より）

アクセス

〒701-1192

岡山県岡山市北区田益1711-1

☎ 086-294-9911（代）

リハビリテーション科
理学療法士長まで



理学療法部門

部門紹介

当院の理学療法は、運動器・脳血管・呼吸器・心疾患・がんなど、幅広い疾患に対するリハビリテーションを実施しています。急性期病院として、発症・手術直後からリスク管理を徹底し、早期離床に努めています。また、作業療法士・言語聴覚士を含めて領域別チームを編成しています。勉強会や相談しやすい体制を通して専門性向上を図り、「よく働き、よく遊べ」をスローガンに日々の業務に励んでいます。



教育体制・学術活動

新人教育ではOSCEやKYTを導入し、客観的評価と問題点の共有に努めています。当科独自の新人教育プログラムに基づき、指導係とアドバイザーを配置し、自律した業務遂行を支援しています。また、臨床能力やディスカッション能力向上を目的とした研修も実施しています。勉強会では科内研修に加え、対外的な研修会も開催し、院内のみならず地域への発信を目指した体制づくりを行っています。

学会発表:令和7年度 8件

その他:症例検討会(1回/週) 機構本部・グループ研修講師、院内勉強会講師等

多職種連携

RST・褥瘡・排尿ケア・転倒転落予防の各チーム医療に携わり、多職種連携を図っています。

先輩からのメッセージ

当院では、運動器・脳血管・呼吸器・心大血管・がん・小児と、幅広い分野のリハビリテーションに携わることができます。入職1年目から整形外科疾患を中心に担当し、日々の臨床や勉強会を通して、評価から治療まで実践的に学べる環境が整っています。また、年次休暇やリフレッシュ休暇も取得しやすく、仕事とプライベートの両立が可能です。リハビリテーション科職員の一員としてともに成長し、活躍してみませんか。





南岡山医療センター

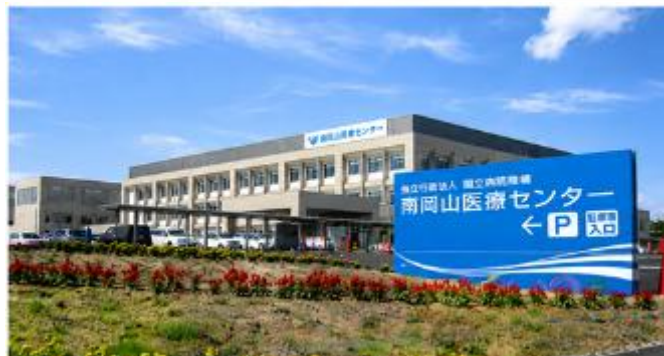
対象病期

高度急性期

急性期 ✓

回復期

長期療養 ✓



対象疾患



脳血管 ✓



運動器 ✓

呼吸器



心臓 ✓

がん



神経難病 ✓



重症心身障害 ✓



発達障害 ✓

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- ① 多様な専門病棟を備える
- ② 急性期と維持期に対応
- ③ 働きやすさと成長を支援

神経・筋疾患病棟、重症心身障害児者病棟、急性期病棟を有し、入院・外来患者さんの急性期・維持期に介入しています。子育て・介護世代を含む多様な職員背景に配慮し、ワークライフバランスを支援するとともに、キャリアアップも後押ししています。

リハビリスタッフ



PT 11名



OT 9名



ST 4名

新卒から25年目まで幅広い経験年数の職員が在籍し、助言を受けながら安心して働ける環境です。連携を大切にし、ハラスメント防止やメンタルサポートにも取り組みながら、「働きやすく働きがいのある職場」を目指しています
(職場長より)

アクセス

〒701-0304

岡山県都窪郡早島町早島4066

☎ 086-482-1121 (代)



リハビリテーション科

理学療法士長・作業療法士長まで



みなみ君

理学療法部門

部門紹介

ALS・パーキンソン病・筋ジストロフィーなどの神経難病、重症心身障害児者、循環器疾患、整形外科疾患を対象にリハビリテーションを行っています。心臓リハビリテーション指導士や心不全療養指導士、3学会合同呼吸療法認定士などの有資格者も複数在籍し、資格取得支援にも力を入れています。急性期から維持期まで幅広いスキルを統合して実践できる点が当院の特徴です。



教育体制・学術活動

新人職員にはプリセプター・メンターを配置し、プログラムに沿って、見学・模倣・実施の段階を踏みながら技術習得を支援しています。当院特有の診療内容や医療機器についても丁寧にレクチャーを行い、安心して業務に取り組める体制を整えています。また、1～6年目までのキャリアプランを作成し、継続的な人材育成にも力を入れています。

学会発表:令和7年度_口述1件、ポスター4件

その他:病院主催による糖尿病教室の講師、難病相談支援事業への講師派遣

多職種連携

各診療科では、医師・看護師・メディカルソーシャルワーカーなど多職種による定期的なカンファレンスを実施しています。長期入院患者さんについても継続的に情報共有を行い、治療方針や日々の状態確認、多職種での意見交換をすすめ、より良い支援につなげています。

先輩からのメッセージ

私は南岡山医療センターに勤務し2年目となります。当院では呼吸器疾患や運動器疾患だけでなく、神経難病や重症心身障害など、専門性の高い分野に幅広く経験することができます。現在、神経難病や重症心身障害を中心に担当しています。今まで触れたことのない疾患で悩みや課題に直面しながらも、先輩方にやさしく教えていただき、日々成長を感じながら働いています。





国立療養所 長島愛生園

対象病期

高度急性期

急性期

回復期



長期療養



対象疾患

脳血管



運動器

呼吸器

心臓

がん

神経難病

重症心身障害

発達障害



精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 日本初の国立療養所として開設
- 2 ハンセン病療養の歴史を継承
- 3 療養施設入所者に寄り添う生活支援

リハビリスタッフ



PT 4名



OT 2名



ST 1名

当園は1930（昭和5）年、初の国立療養所として開設し、当時、ハンセン病は感染症であることが分かっていたが有効な治療法がなく、国の政策として隔離が行われました。現在、入所者の皆様はハンセン病そのものは治癒していますが、高齢化や後遺症、今なお残る偏見や差別により社会復帰が困難なため、当園で生活されています

当園では「入所者ファースト」「職員ファースト」をモットーに、全職員が一丸となって日々の業務に取り組んでいます。入所者の皆様と接する中で、その社会的背景を理解し、ハンセン病の歴史について深く考える機会が得られると思います。また、ワークライフバランスも重視し、「この職場で、そしてNHOで働きたい」と思える職場づくりを目指しています。ぜひ一度、当園へお越しください。皆様のお越しをお待ちしております。（職場長より）

アクセス

〒701-4592

岡山県瀬戸内市邑久町虫明6539

☎ 0869-25-0321（代）

理学作業療法室
運動療法主任まで



理学療法部門

部門紹介

従来のハンセン病後遺症に対する理学療法は、変形や拘縮の予防、二次的外傷や合併症に対する運動療法・物理療法が中心でした。しかし近年では、入所者様の高齢化に伴うADL・QOLの低下や合併症への対応に加え、社会的背景も踏まえた治療プログラムの立案が求められています。そのため、多職種と連携して情報を共有し、一人ひとりに応じた理学療法を提供しています。また、呼吸療法認定士や糖尿病療養指導士も複数名在籍しています。



教育体制・学術活動

園内での勉強会や研修会への参加はもちろん、研修会の講師や部署内外での症例検討会・カンファレンスを通して、表現力や発信力を身に付ける機会があります。また、岡山市内や兵庫県で開催される研修会にも参加できる環境です。

学会発表:令和7年度 2件

園内での入所者への認知予防講座、リハビリテーション科主催の研修会、職員への講義および運動指導、附属看護学校への講義も行っています。

多職種連携

毎月定期的に、医師・看護師・介護員・MSWなど多職種によるカンファレンスを実施しています。入所者様の外出・外泊・退園時には、身体機能やADLの評価が重要となり、その役割を担う一員として参加しています。また、退園前訪問を通して、在宅生活を見据えた理学療法も提供しています。

先輩からのメッセージ

当園は入所者ファースト、職員もファーストをモットーに全療法士が日々の業務に取り組んでいます。入所者の皆様と接する中で、ハンセン病の歴史に深く感慨がわくと思います。また平成30年6月には5階建ての総合診療棟が新設となり、我々、理学作業療法室も1階に在室しています。治療機器を含めた設備も十分な環境のもと、共に臨床に励みましょう。



国立療養所 邑久光明園

対象病期

高度急性期

急性期

回復期



長期療養



対象疾患



脳血管



運動器



呼吸器



心臓



がん



神経難病

重症心身障害

発達障害

精神科

ハンセン後遺症



当院の特徴

- ① 瀬戸内の温暖な気候と豊かな自然環境
- ② ハンセン病後遺症への専門的リハビリ
- ③ 入所者を支える介護予防リハビリ

国立療養所邑久光明園は、全国13か所の国立ハンセン病療養所の一つで、岡山市の南東約35kmに位置する長島にあります。温暖な瀬戸内海の気候と自然に恵まれた環境の中、入所者様の多くはハンセン病の後遺症を抱えながら生活されており、平均年齢は約90歳です。そのため、リハビリテーションや介護予防の充実に取り組んでいます。

リハビリスタッフ



PT 3名



OT 2名



ST 1名

入所者の皆様が充実した日々を送れるよう、多職種が連携して支援しています。また、ワークライフバランスを推進し、働きやすい職場環境を整備しています。理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・義肢装具士が協力し、より良い生活の実現に努めています。

(職場長より)

アクセス

〒701-4593 岡山県瀬戸内市邑久町虫明6253

☎ 0869-25-0011 (代)

リハビリテーション室
副理学療法士長まで



理学療法部門

部門紹介

入所者の皆様の現在の身体機能の維持を目的とした機能訓練や、高齢化に伴う疾患に対する機能回復訓練を中心に実施しています。また、人数は多くありませんが、急性期の理学療法にも対応しています。加齢に伴い日常生活動作に困難を感じる場面が増えているため、多職種と連携し、一人ひとりが安心して生活できるようチームで支援しています。理学療法スタッフ間の連携体制も整っており、担当者が急な休みとなった場合でも、他のスタッフが適切な理学療法を提供できる環境です。さらに、夏祭りやカラオケ大会などの行事を通じて、入所者の皆様とのふれあいを大切にしています。



教育体制・学術活動

ミーティングを毎日実施し、情報共有を行っています。転勤者に対しても、リハビリテーション室全体でサポートする体制を整えています。岡山市内で開催される勉強会や学会に参加しやすい環境であるとともに、園内研修も充実しており、医療安全、感染対策、BLSなど幅広い内容を学ぶことができます。さらに、3学会合同呼吸療法認定士の資格を有するスタッフも多く在籍しており、資格取得を支援する体制も整っています。

学術誌への掲載 :令和7年度_1件(PTジャーナル7月号)

多職種連携

多職種によるカンファレンスを実施し、訓練や生活環境の調整を行っています。また、身体機能の変化に応じた情報共有を行い、多職種と連携しながら、生活の質（QOL）や安全性の向上に取り組んでいます。

先輩からのメッセージ

私は、急性期の病院より転勤し、光明園在職が10年を超えました。転勤当初は不安もありましたが、入所者の皆様がとても優しく迎え入れて下さり、すぐなじむことができました。

労働環境もよく、日々の業務はもちろん、子育て等も充実して行うことができます。





呉医療センター

対象病期

高度急性期✓

急性期 ✓

回復期

長期療養



対象疾患



脳血管 ✓



運動器 ✓



呼吸器 ✓



心臓 ✓



がん ✓



神経難病 ✓

重症心身障害

発達障害



精神科 ✓

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 645床を有する大規模病院
- 2 地域医療を支える中核施設
- 3 高度急性期医療を幅広く提供

当院は、39診療科・645床を有する国立病院機構の大規模病院の一つです。「地域がん診療連携拠点病院」「三次救命救急センター」「地域周産期母子医療センター」「災害拠点病院」「地域医療支援病院」などの機能を担い、地域医療の中核を担う高度急性期医療機関として、専門性の高い医療を提供しています。

リハビリスタッフ



PT21名



OT13名



ST 6名

相互尊重のコミュニケーションを大切にし、働きやすい職場づくりを推進しています。約40名のスタッフがそれぞれの役割を担い、勉強会や症例検討、学術活動を通して臨床力と組織力の向上に努めています。（職場長より）

アクセス

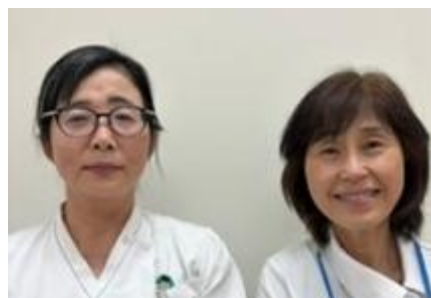
〒737-0023

広島県呉市青山町3番1号

☎ 0823-22-3111（代）

リハビリテーション科

理学療法士長・作業療法士長まで



理学療法部門

部門紹介

運動器疾患（骨折、人工関節術後）、脳血管疾患（脳梗塞、神経筋疾患）、呼吸器疾患（肺炎、COPD、肺切除術後）、心大血管疾患（心筋梗塞、心不全）、がん（血液腫瘍、消化器がん）など幅広い疾患を対象に診療を行っています。急性期リハビリテーションを推進し、発症直後や術前・術後早期から介入することで、ADLの早期改善と合併症予防に努めています。必要に応じてバイオテックスを用いた筋力測定、心肺運動負荷試験や6分間歩行試験を用いた評価・解析を実施し、治療に活用しています。



教育体制・学術活動

新人スタッフは、整形外科、脳血管、呼吸器、循環器、がんの各チームをローテーションしながら教育を受ける体制を整えています。臨床現場での指導に加え、リスク管理や医療安全、感染対策に関する勉強会・研修会を実施し、安全に急性期リハビリテーションを実践できる理学療法士の育成に努めています。また、認定資格の取得や学術活動についても、経験豊富なスタッフが継続的にサポートしています。

学会・研究会発表:令和7年度 2件

その他:関連学会の座長、院内研修会・勉強会の講師

多職種連携

整形外科、脳神経外科、脳神経内科、呼吸器外科、呼吸器内科、心臓血管外科、循環器内科、血液内科、外科などの診療科において医師や看護師、MSWなど多職種でカンファレンスを実施しています。

先輩からのメッセージ

理学療法士5年目です。当院は呉地区の基幹病院として三次救急の役割を担っており、運動器疾患や脳血管疾患に限らず、がん疾患や神経難病など多様な診療科に対応したリハビリテーション介入を実施しています。

当院の魅力は、リハビリテーション科医をはじめ多職種とのカンファレンスや勉強会が日々行われているため、より安全かつ高度にチームアプローチを実践できる点であると感じています。





福山医療センター

対象病期

高度急性期

急性期



回復期

長期療養



対象疾患



脳血管



運動器



呼吸器



心臓



がん



神経難病

重症心身障害



発達障害



精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 広島東部と岡山西部を支える中核病院
- 2 苦痛軽減を重視した先進的な医療体制
- 3 チーム医療と臨床研究を推進

広島県東部医療圏の中核病院として、岡山県西部地域の医療も担っています。「苦痛の少ない医療」の実践を目指し、内視鏡・腹腔鏡を用いた検査・治療・手術を推進。さらに、緩和ケアチームをはじめ多職種が連携するチーム医療を充実させています。また、治療法開発に向けた臨床研究や治験にも積極的に取り組んでいます。

リハビリスタッフ



PT14名



OT10名



ST 3名

忙しい中でも、真摯に患者さんと向き合い、前向きに業務へ取り組んでいます。教育・発表の機会も多く、学びながら成長できる環境です。職場の連携も良く、助け合いながら働けることが当科の魅力です。一緒に新たな一步を踏み出しましょう。（職場長より）

アクセス

〒720-8520

広島県福山市沖野上町4丁目14-17



084-922-0001（代）



リハビリテーション科

理学療法士長・作業療法士長まで



理学療法部門

部門紹介

整形外科（人工関節・脊椎疾患・骨折など）、呼吸器・循環器などの内部疾患、がん、小児など幅広い疾患を対象としています。当院では、整形外科や外科患者さんに対する術前リハビリテーションにも力を入れており、術後合併症予防を目的に呼吸リハビリテーションや運動指導を実施しています。術後は早期離床とADL能力向上を目指し、手術翌日からリハビリテーションを提供しています。



教育体制・学術活動

新採用者には一人ひとりに指導係を配置し、リハビリテーション科全体で支えるサポート体制を整えています。当科規程の新人教育プログラムに基づき、担当疾患や患者数を段階的に調整しながら、無理なく臨床業務に慣れていける環境を整備しています。また、定期的な症例検討会を通じて情報共有や連携を深め、安心して学び、成長できる体制づくりに努めています。

学会発表:令和7年度 2件(国立病院総合医学会)

和文原著論文:2稿(国立医療学会誌 医療、日本医療マネジメント学会雑誌)

多職種連携

医師や看護師など多職種と密に連携し、安全で効果的なリハビリテーションを提供するとともに、早期退院に向けた支援を行っています。また、緩和ケアチームやRST、NSTなど院内チームとも連携し、患者さんを多面的にサポートしています。

先輩からのメッセージ

当院では、整形外科疾患や内部疾患など、幅広い分野のリハビリテーションを行っています。新人教育制度も充実しており、優しい先輩方から丁寧な指導を受けながら、日々成長を実感しています。また、相談しやすい雰囲気があり、安心して業務に取り組むことができます。職場は明るく、他部門を含めたスタッフ同士のコミュニケーションも活発で、働きやすい環境が整っています。





広島西医療センター

対象病期

高度急性期

急性期 ✓

回復期

長期療養 ✓



対象疾患



脳血管 ✓



運動器 ✓



呼吸器 ✓

心臓



がん ✓



神経難病 ✓



重症心身障害 ✓

発達障害

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 急性期から療養期まで幅広く対応
- 2 神経・筋疾患や重症心身障がいに対応
- 3 外来を含む多様なリハビリを経験

急性期病床に加え、筋ジストロフィーやALSなどの神経・筋疾患、重症心身障がい児（者）の療養病棟を有する「ケアミックス型」の病院です。幅広い領域のリハビリテーションを経験でき、外来リハビリテーションにも携わることができます。

神経・筋疾患への対応には日々の学びが欠かせません。急性期リハビリテーションも含め、患者さん一人ひとりに真摯に向き合い、ニーズに応えられるよう努力を重ねています。「患者さんとともに」成長し続けるリハビリテーション科を目指しています。

（職場長より）

アクセス

〒739-0696

広島県大竹市玖波4丁目1番1号



0827-57-7151（代）

リハビリテーション科

理学療法士長・作業療法士長まで



理学療法部門

部門紹介

整形外科疾患、神経・筋疾患、重症心身障がい、がんを対象に専門性の高い理学療法を実施しています。整形外科疾患では、大腿骨頸部骨折術後等、地域連携パスを通じて機能回復をすすめています。神経筋疾患では、筋ジストロフィーや筋萎縮性側索硬化症等の患者さんに対して、呼吸リハビリテーションや車いす作製支援を行っています。機器を用いた排痰援助も多職種と協働して積極的に取り組んでいます。重症心身障がいでは車椅子シーティング、ベッド上ポジショニングを、がんのリハビリテーションでは血液腫瘍等の患者さんに対してQOLを重視した介入を行っています。



教育体制・学術活動

当科の新人教育プログラムに基づき、毎年年間スケジュールを立てて計画的に取り組んでいます。神経・筋疾患の病態理解や呼吸リハビリテーション（呼吸介助・排痰手技など）をテーマに、基礎から学べる勉強会を実施しています。臨床でも科内全体で情報共有しながら一緒に考え、困ったことがあれば気軽に相談できる環境です。

学会発表:令和7年度 7件

その他:難病診療分野別拠点病院(神経・筋疾患)主催研修での講演

多職種連携

スムーズな退院支援が行えるよう、入院早期から医師・看護師・地域連携室を中心とした多職種で定期的にカンファレンスを実施しています。また、在宅に関わる職種とも退院前に適宜情報交換を行い、円滑な情報共有に努めています。

先輩からのメッセージ

職場の雰囲気はとても良く、気軽に相談できる環境が整っています。分からないことがあっても先輩方が丁寧にサポートしてくださるため、安心して業務に取り組むことができました。現在は、重症心身障がい児(者)のリハビリに携わり、日々新たな学びとやりがいを感じています。これまで経験のなかった意思伝達装置の支援にも、先輩と一緒に関わることで理解を深めることができました。今後はさらに知識と技術を高め、専門性を広げていきたいと考えています。





東広島医療センター

対象病期

高度急性期

急性期



回復期

長期療養



対象疾患



脳血管



運動器



呼吸器



心臓



がん



神経難病



重症心身障害

発達障害

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 急性期医療を担う地域中核病院
- 2 高度専門医療とチーム医療を実践
- 3 研究・教育・情報発信を推進

広島中央医療圏の急性期中核病院として、科学的根拠に基づく安心・安全な医療を提供しています。がん、循環器疾患、呼吸器疾患、内分泌・代謝性疾患を中心とした政策医療を担っており、ナショナルセンター等との連携のもと、臨床研究や教育研修、情報発信にも取り組んでいます。地域医療の発展と人材育成に貢献しています。

リハビリスタッフ



PT 12名



OT 7名



ST 3名

入院直後や手術前後からリハビリテーションを開始し、全診療科の疾患に対応しています。特に脳血管疾患や神経難病の患者さんが多く、早期離床・早期回復を目指した支援を行っています。土日祝日も当日処方に対応できる体制を取っています。（職場長より）

アクセス

〒739-0041

広島県東広島市西条町寺家513

☎ 082-423-2176 (代)

リハビリテーション科
理学療法士長まで



理学療法部門

部門紹介

急性期病院として早期離床・早期回復を重視し、在宅復帰や回復期病院への転院を見据えながら、基本動作能力の向上や環境調整などの支援を行っています。また、土日祝日を含め当日処方に対応できる診療体制を整えています。整形外科疾患や呼吸器疾患では術前から介入することもあり、術後の円滑な離床につながる評価・訓練を実施しています。さらに、脳血管疾患や神経難病の患者さんも多く受け入れています。心臓リハビリテーションでは心肺運動負荷試験を活用し、体力評価や適切な運動負荷の設定・指導を行っています。



教育体制・学術活動

当院の新人教育プログラムに沿って、上半期は主に運動器・脳血管領域を中心に指導を行っています。当院では幅広い分野のリハビリテーションを実施しているため、下半期からは2年目以降に担当する可能性のある分野についても情報共有を行いながら、段階的に担当領域を拡大しています。また、担当患者数についても経験や習熟度に応じて徐々に増やし、無理なく成長できるよう支援しています。

学会発表:令和7年度 2件

東広島医師会学術講演会:当院における心臓リハビリテーションの取り組み
心不全対応力向上研修会、国立病院総合医学会への参加

多職種連携

各科カンファレンスに加えて、各病棟ともカンファレンスを実施して早期離床を促進
近隣の病院と連携パスを用いて師・看護師を含めて共通の用紙で情報共有
呼吸ケアサポートチーム、心不全ミーティングなどのチーム医療参加

先輩からのメッセージ

当院は地域の急性期を担う病院で、様々な疾患や分野の患者さんを受け入れています。そのため、多くの経験をすることができます。また、患者さんやスタッフとのコミュニケーションも多いので、和気あいあいとした雰囲気です。日々刺激を受けながら様々なリハビリのあり方を学べるのが魅力だと思います。やりがいや楽しさを私たちと一緒に見つけませんか。





賀茂精神医療センター

対象病期

高度急性期

急性期



回復期



長期療養



対象疾患

脳血管

運動器

呼吸器

心臓

がん

神経難病



重症心身障害

発達障害



精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- ① 中四グループ最大規模の精神科病院
- ② 精神科救急・災害医療の中核
- ③ 多職種連携によるチーム医療

当院は、精神疾患や重症心身障害の政策医療に注力し、精神科作業療法やデイケア、障害児（者）リハビリテーションを実施しています。精神科救急、医療観察法病棟、DPAT派遣、人材育成などの中核を担い、多職種連携によりチーム医療を展開しています。

リハビリスタッフ



PT 2名



OT 9名



ST - 名

メンタルヘルス領域は今後ますます重要となる分野で、対人支援の基盤でもあります。患者さんの「その人らしい生活」を一緒に探すのと同時に、職員のワークライフバランスも大切にしています。（職場長より）

アクセス

〒739-2621

広島県東広島市黒瀬町南方92番地

☎ 0823-82-3000（代）

リハビリテーション科
作業療法士長まで



理学療法部門

部門紹介

当院は中四グループ最大規模の精神科病院で、理学療法部門では全国的にも珍しい強度行動障害や重度知的障害、いわゆる「動く重心」とされる重症心身障害児（者）を対象としています。強度行動障害は、自傷・他害や異食、大声などが高頻度にみられ、特別な支援を要する状態です。こうした患者さんに対し、身体面に加えて認知・行動・感覚面から多角的にアプローチし、機能維持・改善などに取り組んでいます。



教育体制・学術活動

週1回のミーティングを行い、内容の確認や相談、定期的な勉強会を実施しています。未開拓な分野にも対応するため、全国のネットワークを活用して他施設と連携し、院内外の研修会にも積極的に参加しています。専門性の向上と質の高い医療提供に努めています。

令和7年度 院内研修会講義 1件

多職種連携

毎朝、病棟カンファレンスに参加し、最新の患者情報をもとにリハビリテーションへ介入しています。さらに月1回、合同カンファレンスに参加し、医師・看護師・保育士など多職種で患者さんやご家族の意向を踏まえた方針を共有し、連携を強化しています。

先輩からのメッセージ

当院理学療法部門は2017年度に開設され、今年度で10年目となります。開設当初から定員は2名で、中国四国管内において最少人数の理学療法士の配置となっています。少ない人数であることのメリットもたくさんあり、情報共有や連携は取りやすく、問題が起こった場合も2人で協議し早急に対処することができています。週に1回のPTミーティングも行っており、お互いにフォローしあったり相談もしやすく、とても働きやすい職場です。





関門医療センター

対象病期

高度急性期✓

急性期 ✓

回復期 ✓

長期療養



対象疾患



脳血管 ✓



運動器 ✓



呼吸器 ✓



心臓 ✓



がん ✓



神経難病 ✓

重症心身障害

発達障害

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 救急から在宅復帰まで切れ目なく支援
- 2 地域医療を支える急性期病院
- 3 高度救急医療を提供・救急科ER24

下関市から山口県北西部を医療圏とする救急指定病院です。病床数は400床（医療法）で、救命救急センター・急性期一般・地域包括ケア病棟を有し、救命医療から在宅復帰まで一貫した医療サービスを提供しています。私たちは、高齢者救急への早期介入、多職種連携を推進するとともに、地域に求められる人材育成に取り組んでいます。

リハビリスタッフ



PT 16名



OT 11名



ST 3名

若手職員はジョブローテーションを通じて多くの先輩から指導を受けながら経験を積み、転入職員にはキャリアや専門性に応じた業務調整を行っています。One-Team精神を大切にし、互いに支え合いながら安心して働ける職場環境を目指しています。

（職場長より）

アクセス

〒752-8510

山口県下関市長府外浦町1-1

☎ 083-241-1199（代）

リハビリテーション科
理学療法士長まで



理学療法部門

部門紹介

当院は山口県西端に位置し、24時間稼働のER、救命救急・集中治療部門、急性期病棟、地域包括ケア病棟を有し、救命医療から在宅復帰までを担っています。当科では、幅広い疾患や病期の患者さんに対するリハビリテーションを経験できることが特徴です。運動器疾患では、外傷や人工関節に加え、スポーツによる靱帯・半月板損傷、脊柱外科術後の症例を担当しています。脳血管疾患では、救命救急病棟から多職種と連携し早期離床を支援しています。また、消化器外科周術期の理学療法や、地域在住高齢者の医療・介護連携にも携わることができます。



教育体制・学術活動

新採用者には1名の指導者を配置し、丁寧な指導・助言を行っています。幅広い診療能力を備えた人材育成を目標に、急性期病棟と地域包括ケア病棟でのローテーションを実施しています。その後は、本人の希望やキャリアプランに応じて専従配置を行い、専門性の向上を支援しています。また、定期的な勉強会や症例検討会に加え、業務改善やプロトコル整備に関する委員会活動を通じて交流の機会を設けています。さらに、学会や研修会への参加費用を一部助成し、自己研鑽に取り組みやすい環境を整えています。

学会発表:令和7年度 0件

臨床研究を行っています。また、各種学会(運動器系・呼吸循環器系・国立病院総合医学会等)で発表しています。がんのリハビリテーション研修修了者や呼吸療法認定士など、各種学会の認定資格取得者が在籍しており、スキルアップを支援します

多職種連携

診療科ごとに、医師・看護師・薬剤師・栄養士・MSWなどの多職種によるカンファレンスを毎週実施しています。また、NST、RST、認知症ケア、緩和ケアラウンドなどにも参加し、多様な視点を学びながら連携を深め、患者さんにより良い医療を提供できるよう取り組んでいます。

先輩からのメッセージ

病院からは関門海峡が見えるため景色もよく、毎日清々しい気持ちでリハビリテーション業務に取り組んでいます。勤務はシフト制で、計画的に休みを取ることができます。勉強会にくわえて、学会発表の指導を受けることができます。優しい先輩方の指導もあり、相談しやすく成長できる職場です。



対象病期

高度急性期

急性期 ✓

回復期

長期療養 ✓



対象疾患

脳血管

運動器



呼吸器 ✓

心臓



がん ✓

神経難病



重症心身障害 ✓

発達障害

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 がん・呼吸器診療の専門病院
- 2 重症心身障害児者を支える医療
- 3 グループの中でも、特色ある診療体制

「がん」「呼吸器」「重症心身障害（重心）」を診療の三本柱としています。がん・呼吸器疾患の専門病院として高度で専門的な医療を提供するとともに、重症心身障害児者に対してきめ細やかな医療と療育を実践しています。中国四国グループでも特色ある診療を行う数少ない病院です。

リハビリスタッフ



PT 9名



OT 5名



ST 3名

当院は呼吸器・がん・重症心身障害（重心）に特化した専門施設です。多職種が連携しながら患者さんを支援しており、相談しやすい職場環境が整っています。また、子育て世代や男性職員の育児休暇取得にも配慮しています。
(職場長より)

アクセス

〒755-0241

山口県宇部市東岐波685番地



0836-58-2300

リハビリテーション科
副理学療法士長まで



理学療法部門

部門紹介

当院の理学療法は、COPDや間質性肺炎、肺がんなどの呼吸器疾患や、重症心身障害児（者）を対象としたリハビリテーションを中心に行っています。急性期から維持期、さらに終末期・緩和ケア領域まで幅広い病期を経験できることが特徴です。また、呼吸リハビリテーションでは運動療法に加え、生活習慣の改善や自己管理能力の向上を重視しています。医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床工学技士、MSWなど多職種と連携し、患者さん中心のチーム医療を実践できる環境です。



教育体制・学術活動

新人スタッフに対しては、当科の新人教育プログラムに沿って、プリセプターを中心とした指導を行っています。また、科内勉強会や院内研修会など、学びの機会も充実しています。さらに、3学会合同呼吸療法認定士の資格を有するスタッフが多数在籍しており、資格取得を目指す際にも気軽に相談できる環境が整っています。

学会発表:令和7年度_1件(領域別研修内部障害系理学療法症例検討会)
その他:企業や行政からの講演依頼に対応

多職種連携

入院から退院までの間、医師・看護師・MSWなどの多職種によるカンファレンスを定期的実施しています。また、必要に応じて退院前カンファレンスを開催し、患者さんやご家族をはじめ、訪問看護師や在宅リハビリスタッフなど退院後に関わる関係者と情報共有を行い、円滑な在宅生活への移行を支援しています。

先輩からのメッセージ

当院ではがん・呼吸器疾患・重症心身障害児のリハビリテーションを行っています。患者さんに関わっていく中で不安等もありますが、経験豊富な先輩方に相談し的確なアドバイスを頂きながら日々業務を行っています。福利厚生も充実しており、休暇も取得しやすい環境です。私自身も育児休業を取得し、業務と育児の両立を図り充実した日々を送ることができています。（入職5年目）





岩国医療センター

対象病期

高度急性期✓

急性期



回復期

長期療養



対象疾患



脳血管



運動器



呼吸器



心臓



がん



神経難病

重症心身障害



発達障害



精神科

ハンセン病遺伝

当院の特徴

- 1 広域を担う中核医療機関
- 2 2・3次救急と災害医療の要
- 3 地域からの信頼と美しい景観

当院は岩国市を中心に広島・島根の一部までをカバーし、約40万人の医療圏を担う唯一の救命救急センターです。2・3次救急や災害医療の中核として機能し、地域の信頼を支えています。高台から望む瀬戸内海の景色も魅力です。

リハビリスタッフ



PT23名



OT 9名



ST 4名

リハビリテーション科への信頼が厚く、専門職として力を発揮できる環境です。子育て中の職員も多く在籍。男性の育休取得など、ワークライフバランス推進に取り組んでいます。（職場長より）

アクセス

〒740-8510

山口県岩国市愛宕町1丁目1-1



0827-34-1000（代）



リハビリテーション科

理学療法士長・作業療法士長まで



理学療法部門

部門紹介

入院患者を対象に急性期リハビリテーションを提供しており、整形外科（四肢・脊椎骨折、人工関節術後）や脳血管疾患（脳卒中、脳外科術後）に加え、呼吸器（急性・慢性呼吸不全）、心疾患（心筋梗塞、心不全、心外術後）、がん（肺・胃・大腸・肝など）まで幅広く対応しています。疾患別チーム制を導入し、休日を含めて切れ目なく介入を行っています。



教育体制・学術活動

当新人教育プログラムに基づき、指導係を配置し、2年間で各チームをローテーションする体制を整えています。個々の習熟度に応じた指導を行い、相談しやすい環境づくりに努めています。研究面では計画立案や統計解析まで支援し、学会・論文発表を後押しします。勉強会は原則月1回、急変時シミュレーションや感染対策などを実施しています。

学会発表:令和7年度_1件

多職種連携

各科のカンファレンスやラウンドに積極的に参加しています。理学療法士の評価をもとに、治療方針や転帰に反映される体制が定着しています。そのため、正確な情報共有を重視しています。多職種と連携しながら、PTとしての専門性を発揮できる職場です。

先輩からのメッセージ

脳血管・循環器・運動器・呼吸器の各分野を経験し、急性期のリスク管理や病態に応じたリハビリを実践することで、スキルアップを図ることができます。2年目となり、基本業務を主体的に担いながら、チームの一員として成長できるよう取り組んでいます。先輩方から温かいご指導をいただき、相談にも丁寧に対応してくださるおかげで充実した日々を過ごしています。（卒後2年目職員）





柳井医療センター

対象病期

高度急性期

急性期

回復期

長期療養



対象疾患



脳血管 ✓



運動器 ✓



呼吸器 ✓

心臓

がん



神経難病 ✓



重症心身障害 ✓

発達障害

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- ① 神経難病に特化した専門医療
- ② 重症心身障害児者の中核病院
- ③ 専門的外科治療および人工透析

当院は、東に瀬戸内のハワイと呼ばれる周防大島、西に大星山を望む自然豊かな環境にあります。神経難病（筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病、多発性硬化症等）や重症心身障害児（者）の専門医療施設として、山口県全域と広島県西部の中核的役割を担い、一般外科、肛門疾患、大腸・直腸癌治療、入院透析にも対応しています。

リハビリスタッフ



PT 7名



OT 5名



ST 3名

患者さん一人ひとりに寄り添った安心・安全な医療を提供しています。瀬戸内海を望む恵まれた環境の中で、臨床経験を積み、ワークライフバランスを充実させ、みんなで共に成長していける職場を目指しています。（職場長より）

アクセス

〒742-1352

山口県柳井市伊保庄95

☎ 0820-27-0211（代）

リハビリテーション科
理学療法士長まで



理学療法部門

部門紹介

当院では、パーキンソン病・筋萎縮性側索硬化症・脊髄小脳変性症などの神経難病や、重症心身障害児（者）、外科手術後、人工透析患者さんを中心にリハビリテーションを行っています。脳卒中後遺症や整形外科疾患にも対応し、排痰補助装置を活用した呼吸リハビリテーションにも力を入れています。2025年度からは、パーキンソン病短期集中リハビリテーションを本格的に実施しています。



教育体制・学術活動

病棟担当制（チーム制）を導入し、経験豊富な職員が新人職員へマンツーマンで丁寧な指導・助言を行っています。毎朝の情報共有をはじめ、チーム全体で支え合う体制を整え、安心して業務に取り組める環境づくりに努めています。また、新人教育プログラムを活用し、計画的に業務全般を習得できるよう支援しています。

学会発表:令和7年度_1件

「SIDE評価をもとに新規入院患者の機能レベルと転倒者の調査」

多職種連携

神経内科リハビリテーションカンファレンスを毎月開催し、医師・看護師・ソーシャルワーカーなど多職種で情報共有を行っています。各病棟においても、リハビリテーションスタッフと病棟看護師等が入院患者さんのカンファレンスを実施し、密接な連携を図っています。

先輩からのメッセージ

当院では、神経難病、廃用症候群、整形疾患、重症心身障害児（者）といった患者さんを中心にリハビリテーションを実施しています。同じ疾患であっても、症状やADLは一人ひとり異なるため、個々に合ったリハビリテーションの提供が求められます。その中で、悩みを一人で抱え込むのではなく、先輩方からの指導やアドバイスを受けながら、多くの経験を積み成長できる環境があります。ぜひ一緒に働きましょう。



対象病期

高度急性期

急性期 ✓

回復期 ✓

長期療養 ✓



対象疾患



脳血管 ✓



運動器 ✓



呼吸器 ✓



心臓 ✓



がん ✓

神経難病



重症心身障害 ✓

発達障害

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 結核・重心医療を担う病院
- 2 地域包括ケアで暮らしを支援
- 3 やさしい笑顔、あたたかな医療

リハビリスタッフ



PT 5名



OT 2名



ST 2名

徳島県東部を診療圏とし、政策医療である結核・重症心身障害児（者）病棟のほか、一般病棟（地域包括ケア病棟を含む）を有しています。「やさしい笑顔で、あたたかな医療を提供します」を病院理念に掲げ、地域に貢献する医療を実践しています。

「やさしい笑顔で、あたたかな医療を提供します」に基づき、患者さん一人ひとりに寄り添ったリハビリテーションを提供しています。多職種と連携しながら、患者さんの思いや目標を大切に支援しています。（職場長より）

アクセス

〒779-0193

徳島県板野郡板野町大寺大向北 1-1

☎ 088-672-1171（代）

リハビリテーション科
副理学療法士長まで



理学療法部門

部門紹介

当院の理学療法では、呼吸器疾患（COPD、各種肺炎、肺癌、肺結核、肺MAC症など）や運動器疾患、糖尿病などの代謝性疾患、呼吸器・消化器外科の周術期、重症心身障害児（者）を対象に、急性期から維持期まで幅広いリハビリテーションを実施しています。特に内部障害に力を入れており、3学会合同呼吸療法認定士が在籍し、包括的呼吸リハビリテーションにも対応しています。また、糖尿病教育入院や土曜日のリハビリテーションを行っています。



教育体制・学術活動

月1回の科内勉強会を開催しており、院内研修会にも積極的に参加しています。3学会合同呼吸療法認定士や認定理学療法士、トレーナー資格を有するスタッフが在籍し、登録理学療法士取得への支援も充実しています。新人教育では、プリセプターを中心に教育プログラムに沿って指導を行っています。

学会発表:令和7年度_0件

院内研修の講師:「糖尿病教室」、「医療安全研修」、「看護部研修」など

多職種連携

各病棟で週1回のリハビリテーションカンファレンスを実施しており、多職種と円滑に連携できる環境が整っています。また、退院前カンファレンスや退院前訪問も積極的に行い、在宅復帰への移行を円滑に進められるよう連携しています。

先輩からのメッセージ

当院では、運動器疾患や呼吸器疾患、重症心身障がい児者など幅広い疾患を経験することができます。多種多様な疾患に対応することは、当初は不安も多くありましたが、先輩方より熱心に優しくご指導していただき、充実した日々を過ごせています。また、患者さん一人ひとりに対して時間を掛けられるので、ゆっくり仕事に慣れることができると思います。





とくしま医療センター西病院

対象病期

高度急性期

急性期



回復期



長期療養



やさしい笑顔で、あたたかな医療を提供します。

対象疾患



脳血管



運動器



呼吸器

心臓



がん



神経難病



重症心身障害

発達障害

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

当院は、神経・筋疾患医療の中心的役割を担う病院として、長年にわたり筋ジストロフィー医療に取り組んできました。先人たちの理念を受け継ぎ、質の高い医療提供を目指しています。

ロボットリハビリテーションを早期から導入し、パーキンソン病に対する「非運動症状に注目した短期集中リハ入院」も実施しています。さらに、スポーツ外傷・障害に対するメディカルリハやアスレチックリハにも力を注いでいます。多様な疾患に対応する知識・技術を学べる環境が整っており、研修・研究支援や学術活動も充実しています。

リハビリスタッフ



PT 9名



OT 5名



ST 3名

政策医療である神経筋疾患に対する医療を中心に提供しています。県内にとどまらず、他県からの紹介も多く、医師や看護師、メディカル部門との連携も充実しています。質の高い医療サービスを提供できるようスタッフ一同努力しています。（職場長より）

アクセス

〒756-8585

徳島県吉野川市鴨島町敷地1354番地

☎ 0883-24-2161 (代)

リハビリテーション科
理学療法士長まで



理学療法部門

部門紹介

当院では、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症（ALS）、筋ジストロフィーなどの神経・筋疾患をはじめ、スポーツ整形外科領域に対する医療サービスを提供しています。特に、パーキンソン病に特化した短期集中リハビリテーション入院を16年間継続して実施しており、県外から参加される患者さんも多くいらっしゃいます。また、先進的な取り組みとして、ロボットスーツHAL®を用いたロボットリハビリテーションを導入し、理学療法士全員が関連資格を取得しています。



教育体制・学術活動

全体で2週に1回の勉強会を実施しています。国立病院機構主催の研修会はもちろん、院内や各種学会・研修会への参加・発表にも積極的に取り組んでいます。また、認定理学療法士や各種資格を取得しているスタッフも多く、それぞれ自己研鑽に励んでいます。

学会発表: 令和7年度 8件

その他: 地域に向けた当院主催の健康増進活動に関する講演会など地域に密着した活動も行っています。また、国立病院機構や理学療法士会の研修会や学術集会への参加も積極的に行えるような環境です。

多職種連携

定期的に、多職種（医師、看護師、地域連携室、薬剤師など）によるリハビリテーションカンファレンスを行っています。また、退院前カンファレンスや退院前訪問を通して他職種と連携し、病院から在宅へ円滑に移行できるよう支援しています。

先輩からのメッセージ

当院には慢性進行性疾患の方が多く、比較的長期間な関わりとなる方も多いです。身体的なものに加え、精神的なフォローも重要な仕事の一つで、患者さんとともに悩み、寄り添いながら進めていくリハビリテーションはやりがいのあるものです。

私自身出産を経て復帰していますが、福利厚生の実施により子育て世代にとっても働きやすい職場だと感じています。





高松医療センター

対象病期

高度急性期

急性期

回復期



長期療養



対象疾患



脳血管



運動器



呼吸器



心臓

がん



神経難病



重症心身障害



発達障害

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 神経筋疾患を支える難病医療の拠点
- 2 結核を含む呼吸器疾患の専門医療
- 3 高齢者・障害者に優しい医療

当院は、香川県難病医療支援ネットワークの拠点病院です。地域を支える病院として、神経筋疾患分野の難病医療、結核を含む呼吸器疾患の専門医療、高齢者や障害者にも優しい一般医療の3つを柱に診療を行っています。

リハビリスタッフ



PT 6名



OT 3名



ST 2名

神経難病や呼吸器疾患の患者さんを中心に、在宅復帰を見据えた維持期リハビリテーションを行っています。リハビリスタッフ間はもちろん、多職種との連携も良好で、患者さんに寄り添った支援を大切にしています。(職場長より)

アクセス

〒761-0193

香川県高松市新田町乙8番

☎ 087-841-2146 (代)

リハビリテーション科
理学療法士長まで



理学療法部門

部門紹介

パーキンソン病、ALS、多系統萎縮症、筋ジストロフィーなどの神経筋疾患や、慢性呼吸器疾患、間質性肺炎、結核などの呼吸器疾患を対象としたリハビリテーションに取り組んでいます。LSVT®BIG認定療法士が3名在籍し、パーキンソン病患者の短期集中リハビリテーション（ブラッシュアップ入院）での専門的な運動療法を提供するとともに、学術活動にも力を入れています。また、ALS患者への呼吸リハビリテーションや、慢性呼吸器疾患を対象とした包括呼吸リハ入院を積極的に行っています。



教育体制・学術活動

新人教育プログラムに沿った指導をはじめ、症例検討会や勉強会を定期的を実施し、知識・技術の向上に努めています。また、科の方針や業務に有益と認められる研修については、研修費の補助制度を設け、スタッフの学びと成長を支援しています。

学会発表:令和7年度_3件(国立病院総合医学会)

当院は県の難病診療分野別拠点病院(神経筋疾患分野)であり、神経筋疾患患者さんのリハビリテーションについて、情報発信を行っています。

多職種連携

毎月、病棟ごとにカンファレンスを実施し、患者さんの状態やリハビリテーションの進捗を共有しています。特にブラッシュアップ入院や包括呼吸リハ入院では、週1回の多職種カンファレンスを行い、連携を強化しています。退院時には必要に応じて担当者会議を開催し、ご家族やケアマネージャーと情報共有を行っています。

先輩からのメッセージ

当院では神経難病・呼吸器疾患を中心としたリハビリテーションを学ぶことができます。特にパーキンソン病患者の短期集中リハビリテーション入院や、包括呼吸リハ入院に積極的に関わっています。教育体制は症例検討を積極的に取り入れてくださり、患者さんの治療・訓練に還元することができました。





四国こどもとおとなの医療センター

対象病期

高度急性期✓

急性期 ✓

回復期 ✓

長期療養 ✓



対象疾患



脳血管 ✓



運動器 ✓



呼吸器 ✓



心臓 ✓



がん ✓



神経難病 ✓



重症心身障害 ✓



発達障害 ✓



精神科 ✓



ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 こどもからおとな、急性期から慢性期まで
- 2 多彩なリハビリに幅広く対応
- 3 心も彩るホスピタルアート

成育医療・成人医療・重症心身障害児（者）医療に対応する複合型病院です。当科では、小児から成人まで、急性期から慢性期まで幅広いリハビリを提供しています。院内を彩る「ホスピタルアート」も見どころです。ぜひホームページをご覧ください。

リハビリスタッフ



PT 15名



OT 6名



ST 6名

“こどももおとなも支える”をテーマに、年齢や疾患を問わず幅広い症例を経験できます。多職種と連携するチーム医療の中で、臨床力と対応力を磨ける環境です。若手職員も安心して成長できる温かな職場です。（職場長より）

アクセス

〒765-8507

香川県善通寺市仙遊町2丁目1-1

☎ 0877-62-1000（代）



リハビリテーション科

理学療法士長・作業療法士長まで



理学療法部門

部門紹介

新生児から高齢者まで、急性期から慢性期に至る幅広いリハビリテーションを提供しています。成育部門では、NICU・GCUから外来まで新生児の発達支援に対応し、重症心身障害児者病棟でのリハビリテーションや、座位保持装置・車椅子・装具の作製にも関わっています。成人部門では、救命病棟・ICUから介入し、運動器・脳血管・循環器疾患に対する急性期リハビリテーションを実施しています。土日祝日もローテーションで対応しています。



教育体制・学術活動

新採用者に対してプリセプター・メンターを配置し、マンツーマン指導を行っています。また、プリセプターだけでなく、各種チームリーダーも関わる体制を整えています。さらに、教育システムについても随時見直しやアップデートを行うよう努めています。

学会発表: 令和7年度_国立病院総合医学会 1件、JAPAN PAIN WEEK2025 2件、第53回四国理学療法士学会 1件、日本運動器疼痛学会 1件

論文発表(和文) 2件 講演会 1件

地域医療連携室を通した「健康出前講座」や県民・市民向け講座、糖尿病教室など、地元地域への健康講座も行っています。

多職種連携

各種委員会への参加や、他部門からの研修依頼への対応を行っています。また、定期的に多職種によるカンファレンスを実施しています。小児外来では、地域の教育・療育部門スタッフと連携を図るため、リハビリ見学やカンファレンスを行っています。

先輩からのメッセージ

私はこれまで民間病院で勤務し、14年目から四国こどもとおとなの医療センターで働いています。急性期病院では業務量が多く大変な面もありますが、多様な疾患や病態に触れられるため、知識・技術の向上や貴重な経験の蓄積につながっています。経験は最大の学びであり、リスク管理や医療機器の理解、治療介入のイメージを深めるうえでも重要だと感じています。また、当リハビリテーション科は自由度が高く、休暇取得のしやすさや興味のある領域でのスキルアップなど、自分の目指す働き方を実現しやすい環境です。





国立療養所 大島青松園

対象病期

高度急性期

急性期

回復期

長期療養



対象疾患

脳血管

運動器

呼吸器

心臓

がん

神経難病

重症心身障害

発達障害

精神科

ハンセン後遺症



当院の特徴

- 1 穏やかな環境で寄り添う支援
- 2 多職種で支える高齢者リハ
- 3 歴史を学び、専門性を深める

当園は瀬戸内海に浮かぶ大島に位置するハンセン病療養所です。穏やかな自然環境の中、入所者一人ひとりに寄り添った支援を行っています。多職種と連携し、後遺症や高齢化に伴う身体機能低下、認知症、摂食嚥下障害などに対応し、生活全体を支える包括的なリハビリテーションを実践しています。

アクセス

〒764-0198

香川県高松市庵治町6034-1

☎ 087-871-3131 (代)

リハビリテーション科
副理学療法士長まで



リハビリスタッフ



PT 2名



OT 1名



ST - 名

リハビリ部門は、入所者の皆さんと継続的に関わる中で、疾患や障害特性だけでなく、その方の生活背景や価値観を踏まえた支援を学ぶことができます。落ち着いた環境の中で歴史的背景を有する療養所に特化した役割と、専門性を習得できる職場だと思います。

教育・指導体制の充実を図り、対外研修に参加しやすい環境づくりに取り組んでおり、ワークライフバランスを大切にしたい働きやすさも当園の特徴です。

(職場長より)

理学療法部門

部門紹介

国立療養所大島青松園の理学療法部門では、ハンセン病後遺症や加齢に伴う身体機能低下に対し、運動療法や動作練習を通して生活機能の維持・改善を支援しています。転倒・拘縮予防や歩行能力維持など高齢期の課題にも対応し、多職種と連携しながら入所者一人ひとりに合わせたリハビリテーションを実践しています。入所者の平均年齢は88.7歳です（令和8年4月現在）。



教育体制・学術活動

少人数の職場でもあり、リハビリ部門内の教育・指導体制は整備されています。また、園内外の研修に積極的に参加できる環境作りをすすめています。

学会発表:令和7年度_ハンセン病コメディカル学術集会における演題発表 1件

多職種連携

医師・看護師・介護員・メディカルソーシャルワーカーなど多職種による定期カンファレンスを行っています。義肢装具士も常駐しており、自助具や補装具を協働で作成する機会が多く、チームで入所者支援に取り組んでいます。

先輩からのメッセージ

入所者の皆さん一人ひとりの生活に寄り添いながらリハビリを実践しています。継続的に関わる中で信頼関係が築かれ「その人らしい暮らし」を支えるやりがいを感じています。穏やかな環境で、多職種と連携しながら成長できる職場です。



対象病期

高度急性期

急性期 ✓

回復期 ✓

長期療養 ✓



対象疾患



脳血管 ✓



運動器 ✓



呼吸器 ✓

心臓



がん ✓

神経難病

重症心身障害

発達障害

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 都道府県がん診療連携拠点病院
- 2 がんゲノム医療拠点病院の指定
- 3 がんのリハビリテーション研修を主催

当院は都道府県がん診療連携拠点病院であり、2019年にはがんゲノム医療拠点病院の指定を受けました。また、緩和ケア病棟を併設しており、がん患者さんに急性期から緩和期までの医療を提供できる体制を整えています。さらに、「がんのリハビリテーション研修」を主催する立場にあり、講師やファシリテーターを務めています。

リハビリスタッフ



PT 5 名



OT 1 名



ST 2 名

当科は、主に周術期・進行期から緩和期までの「がんリハビリテーション」を担っています。療法士はもちろん、医師・看護師もがんのリハビリテーション研修を受講できる体制を整えています。診療業務に加え、研究活動にも力を入れています。（職場長より）

アクセス

〒791-0280

愛媛県松山市南梅本甲160番

☎ 089-999-1111 (代)

リハビリテーション科
理学療法士長まで



理学療法部門

部門紹介

当院の理学療法は、周術期リハビリテーション（リハ）、進行がんに対する維持的リハ、リンパ浮腫に対する集中排液、緩和期のリハなど、がん医療におけるリハビリテーションを幅広く学ぶことができます。また、学術活動にも力を入れており、文献抄読会や学会発表、論文執筆にも積極的に取り組んでいます。医師と療法士のコミュニケーションが取りやすく、働きやすい職場環境を目指しています。



教育体制・学術活動

当科の新人教育プログラムに基づき、新採用者には指導係とアドバイザーを配置し、サポートしています。また、週1回、リハ科医師と療法士による文献抄読会を開催し、がんに関する和文・英文文献をもとに最新の知見を共有しています。

学会発表:令和7年度_2件

研究会主催:第13回日本がんリハビリテーション研究会

多職種連携

毎朝、リハ科医師と療法士・看護師による多職種カンファレンスを開催し、治療方針やリスクを共有しています。ハイリスク患者さんも安心してリハを実施できる体制づくりを目指しています。各種委員会や病棟カンファレンス、回診にも携わっています。リハ科内では、スタッフが気軽に相談できる雰囲気づくりを目指しています。

先輩からのメッセージ

当院では、急性期から慢性期まで幅広いがん患者さんにリハビリテーションを提供しています。スタッフ全員がんのリハビリテーション研修を受けており、定期的に文献抄読など情報共有や意見交換する場も設けています。PT・OT・STは8名と少人数体制ではありますが、その分距離も近く雰囲気の良い職場です。そのためがんリハに初めて携わる方や不安を抱えている方でも安心して働くことができると思います。



対象病期

高度急性期

急性期



回復期



長期療養



対象疾患



脳血管



運動器



呼吸器



心臓



がん



神経難病



重症心身障害



発達障害

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 結核、重症心身障害、神経難病の対応
- 2 小児から成人まで幅広い支援
- 3 地域を支える救急・急性期医療

政策医療と地域医療を2本柱としています。結核、重症心身障害、神経難病の専門医療施設として県内全域から患者さんを受け入れているほか、ポストNICU病床を設け、小児医療にも取り組んでいます。地域医療では、周辺地域の急性期医療や内部障害・神経・運動器疾患のリハビリテーション、生活習慣病対策にも力を入れています。

リハビリストッフ



PT 9名



OT 4名



ST 3名

当科の対象疾患は、運動器・脳血管・呼吸・循環・障害児者など多岐に亘っており、技術の研鑽だけでなく、学会発表や各領域の勉強会・研修会への参加等の学術活動、各資格取得などを奨励しています。これらに対して、医師からのバックアップも充実しています。
(職場長より)

アクセス

〒791-0281

愛媛県東温市横河原366番地

☎ 089-964-2411 (代)

リハビリテーション科
理学療法士長まで



理学療法部門

部門紹介

当院は政策医療と地域医療を2本柱としています。政策医療では、神経難病、重症心身障害、結核の専門医療施設としての役割を担うとともに、ポストNICU病床を設け小児医療にも取り組んでいます。また、松山医療圏の二次救急輪番病院として地域医療にも貢献しています。このような急性期医療に対応するため、土曜日・祝日も理学療法を実施しています。リハビリテーション対象は神経内科、整形外科、循環器内科、呼吸器内科、外科、重症心身障害児者など幅広く、多様な経験を積むことができる環境です。



教育体制・学術活動

卒後2年目までを対象とした新人教育プログラムをもとに、プリセプターを中心にリハビリテーション科全員で新人教育に取り組んでいます。今年度は自己研鑽として科内勉強会を月1回実施しています。また院外の研修会、学会発表、資格取得を支援する環境も整っています。

学会発表:令和7年度 2件

各診療科や多職種、他施設と共同研究を行い、各種学会にて発表を行っています。また院内外で開催される研究会に参加することを推奨しています。

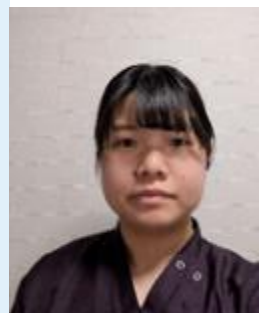
多職種連携

リハビリテーション科のスタッフは、チーム医療の一員として活動しています。

- ・呼吸サポートチーム
- ・糖尿病リハビリテーションチーム
- ・心臓リハビリテーションチーム など

先輩からのメッセージ

当院リハビリテーション科では急性期～維持期までの幅広い臨床を経験することができます。また、リハビリスタッフは和やかで先輩方へ相談を気軽にすることができ新人のうちから安心して業務に取り組める体制となっております。さらに科内で定期的に勉強会を実施することで知識向上、治療内容の確認を行っております。多職種のスタッフ同士でもコミュニケーションを取りやすく、チーム医療に臨める職場となっております。





高知病院

対象病期

高度急性期

急性期 ✓

回復期

長期療養 ✓



対象疾患

脳血管



運動器 ✓



呼吸器 ✓

心臓



がん ✓

神経難病



重症心身障害 ✓

発達障害

精神科

ハンセン後遺症

当院の特徴

- 1 呼吸器センターで包括的医療を実践
- 2 呼吸器・整形・がん・重心に対応
- 3 人工関節・骨折術後を早期から支援

主に呼吸器疾患、整形疾患、がん、重症心身障害の患者さんを対象にリハビリテーションを行っています。呼吸器分野では、平成23年8月に呼吸器センターを設立し、医師をはじめ多職種と連携した包括的な診療を実践しています。整形疾患では、人工関節置換術や骨接合術後の患者さんに対し、早期リハビリテーションを提供しています。

リハビリスタッフ



PT 9名



OT 3名



ST 2名

「患者さんへ最善のリハビリテーション医療を」を理念に、一人ひとりが患者さんに寄り添い質の高いリハビリテーションを提供しています。地域の急性期医療に加えて、結核医療や重症心身障害のセーフティネット医療にも対応しています。（職場長より）

アクセス

〒780-8507

高知県高知市朝倉西町1-2-25

☎ 088-844-3111 (代)

リハビリテーション科
理学療法士長まで



理学療法部門

部門紹介

当院の理学療法では、主に整形疾患（腰部脊柱管狭窄症、人工関節置換術後、骨接合術後など）、呼吸器疾患（COPD、間質性肺炎、肺がん術後など）、外科術後（イレウス、消化器切除術後など）、重症心身障害児（者）を対象にしています。3学会合同呼吸療法認定士やがんリハビリテーション研修修了者などの有資格者が複数在籍し、資格取得に向けた支援体制も充実しています。また、急性期から維持期まで幅広い病期を経験できることも特徴です。土曜日もリハビリテーションを実施し、術後早期から切れ目のない理学療法を提供しています。



教育体制・学術活動

新人育成では、当科の新人教育プログラムに沿って、プリセプターを中心とした指導を行っています。院内外の研修会への参加を積極的に推奨しており、3学会合同呼吸療法認定士などの資格を有するスタッフも多く在籍しています。資格取得に向けたサポート体制も整えています。

学会発表:令和7年度_1件（日本栄養学術集会）

発表テーマ「高齢胃がん切除術患者におけるサルコペニアが予後に与える影響」

多岐にわたって研究発表を行っており、各団体・研究会などからの講師依頼にスタッフの派遣を行っています

多職種連携

入院から退院までの間に、定期的に多職種（医師・看護師・メディカルソーシャルワーカーなど）によるカンファレンスを実施しています。在宅に関わる職種とも退院前カンファレンスなどを行い、病院から在宅へ円滑に移行できるよう連携を図っています。

先輩からのメッセージ

当院では、呼吸器や整形外科疾患を中心に様々な疾患を経験できます。特に呼吸器疾患は内科・外科が垣根なく患者さんに対応しており、リハビリの臨床においても多岐に渡った経験ができます。私自身、赴任直後でも適切な指導や助言をしていただき、仲間にも相談しやすい環境のため、安心して働ける職場です。また子育て支援制度などが充実し、仕事と家庭の両立ができる環境が整っています。さらに学術活動や学会発表なども、積極的に行えるような科内の雰囲気になっています。

